第6回生涯学習審議会
資料1

答申「今後の町田市立図書館のあり方について」に係る取組状況について

１．町田市立図書館について

町田市立図書館は、１９５８年の開館以来、市内全域でのサービス提供を目標として、地域館の整備や移動図書館の運行を行ってきました。１９９８年には相模原市との相互利用を開始し、その後も京王線沿線の６市、川崎市、大和市、横浜市へとサービスを拡大することで、図書館が身近にない市民の利便性を向上させるとともに、他市の多くの市民へも図書館利用機会を提供してきました。現在は図書館７館体制でサービスを提供しており、うち３館は他の公共施設との複合館となっています。

町田市教育委員会では、所管する公共施設についてのあり方の検討を行うとともに、施設の管理運営や実施事業をより効率的に行うための見直しに向け、２０１８年１０月、町田市生涯学習審議会に対して「今後の町田市立図書館館のあり方について」を諮問し、２０１９年１月に答申をいただきました。

この答申を踏まえ、２０１９年２月に「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定し、これまで様々な見直しを進めてきましたので、現在の取組状況等について報告いたします。

２．答申内容と現在の取組状況について

（１）図書館サービスの見直し

＜あらゆる市民が利用しやすい図書館＞

答申概要
・世代や居住地、生活スタイルにかかわらず、あらゆる市民にとって身近で利用しやすい図書館サービスを実現すること。 ・地域の情報拠点として、魅力ある蔵書や資料を収集・提供していくとともに、市民一人ひとりが必要な情報を容易に得られるよう、きめ細やかな支援を行うこと。

あり方見直し方針
【あらゆる市民が利用しやすくする】 ・市民の図書館利用の促進 ・開館日・開館時間の拡大 ・図書館利用に障壁のある市民へのサービスの充実 ・移動図書館巡回運行の見直し ・相互利用の拡大

現在の状況
○ 積極的な図書館の情報発信に取り組んだ結果、X(旧 Twitter)のツイート数及びフォロワー数も増加しています。２０１８年度のツイート数は８１件、フォロワー数は６００人でしたが、２０２４年度にはそれぞれ１１８件、1,７２４人となりました。

○ 市民の図書館利用の促進に向け、主に高齢者をターゲットとしたスマホ体験講座やスマートフォン・タブレット個別相談会、小・中学生を対象としたタブレット等のデジタルツールを使用した創作体験講座等、図書館に親しんでもらうための講座等を開催しました。
○ ２０２３年度から、予約資料受渡しサービス拠点の一つとして「久美堂本町田店」を追加し、気軽に読書が出来る環境の整備をしました。
○ ２０２２年度に指定管理者制度を導入した鶴川駅前図書館では、第１・第３以外の月曜日が開館日となり、開館時間は月～金曜日が９：３０～２０：００、土日祝日が９：３０～１８：００と拡大しました。
○ マルチメディアデイジー※1上映会や児童向け点字体験会等を行い、読書バリアフリーに関する周知活動を行いました。デイジー図書※2再生機の貸出を２０２４年度から開始しました。

※1 音声と一緒に文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。
※2 目が見えない方や本を読むことが難しい方のための「音の本」。専用再生機やパソコンなどを用いて簡単な操作で聞くことができる。

○ 来館せず２４時間３６５日利用できる電子書籍サービスの提供を２０２２年度に開始しました。また、視覚障害がある方を対象に、電子書籍の音声自動読み上げサービス「アクセシブルライブラリー」を２０２５年度に導入しました。
○ 移動図書館について２０２０年度から定期巡回場所の見直しを行い、幼稚園や保育園など子どもの集まる場所への出張運行を始めました。
○ ２０１９年度に大和市立図書館、２０２０年度に横浜市立図書館との相互利用を開始しました。これで、町田市に隣接している市とは全て相互利用が可能となり、市民の利便性が向上しました。

今後の予定・課題

○ タイムリーな情報発信を行うことや、ターゲットを絞った講座を開催することを通じて図書館の関心を高め、利用者の増加につなげていきます。
○ 効果的な情報発信、来館者増加を実現するために、民間企業等との連携を進めていきます。具体的には、町田市と株式会社ゼルビアとの包括連携協定に基づいた、中央図書館の館内イベントの実施やゼルビアオリジナル図書館カレンダーの制作・配布等を予定しています。
○ 引き続き従来の障がい者サービスや周知活動を継続することに加え、多様な資料を紹介する「りんごの棚」※を設置するなど、新規利用者に向けた新たな周知活動を予定しています。

※本を読むことに特別な配慮が必要な方向けの、点字図書、大活字本、録音資料など、多様でアクセシブルな資料のコーナー。

○ 移動図書館の定期巡回場所の更なる見直しや老朽化した移動図書館車両の買替の検討を進めるとともに、子どもが集まる場所を中心とした出張運行先を拡大します。
○ 引き続き相互利用１０市との連携を行います。

＜子どもの読書活動の充実につながる環境整備＞

答申概要
・未来の町田をつくる子ども達の読書週間を育むため、学校や学校図書館等との連携を強化し、子どもが魅力的な本とめぐり合える環境を整備すること。 ・読書活動を推進する団体・ボランティア等との連携・協力により、読書の魅力を感じることができる機会を充実させること。

あり方見直し方針
【子どもの読書活動を充実させる】 ・子ども読書活動の推進 ・学校図書館支援の充実 ・成長過程に応じた読書環境づくりの支援

現在の状況
○　２０２０年２月に「第四次町田市子ども読書活動推進計画（２０２０年度～２０２４年度）」、２０２５年３月に「第五次町田市子ども読書活動推進計画（２０２５年度～２０２９年度）」を策定し、子どもの読書活動を総合的・計画的に推進しています。また、小学校における英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書の蔵書数の充実を図りました。加えて、英語多読講演会、英語絵本の読み聞かせ講演会を開催しました。 ○　２０２３年度に来館せず２４時間３６５日利用できる電子書籍サービスのＩＤを、全市立小・中学校の児童・生徒へ付与しました。 ○　学校図書館支援では依頼件数と貸出冊数が減少しているため、学校が利用しやすいように２０２０年度から授業等のテーマに合わせた「テーマ別貸出セット」を事前に用意しました。さらに、より多くのテーマで利用いただけるよう、２０２３年度には「テーマ別貸出セット」を拡充しました。 ○　市立小・中学校の新任教諭や学校図書館担当者を対象に、図書館の活用に関する研修等を行いました。 ○　子どもが本に親しみ興味を持ってもらえるように、乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を行い、読書の機会を提供しています。また、図書館で購入した児童書の中から、図書館職員が選んだ年代別のおすすめ本を掲載したリーフレットを作成し、配布しています。 ○　２０２０年度に中央図書館の中高生世代向けのヤングアダルト（ＹＡ）コーナーを拡大リニューアルし、若者が利用しやすい環境を充実させました。また、集会室を活用し、中高生を対象としたグループ学習室「わいわいキャレル」を土日祝日限定で運営しています。また、忠生図書館の多目的室も土日祝日や夏休み期間中に中高生向けの勉強スペースとして開放しています。 ○　英語多読コーナーを、２０２０年度に中央図書館、鶴川駅前図書館及び忠生図書館に、２０２２年度にはさるびあ図書館、金森図書館、堺図書館に設置し、やさしい英

語絵本がどの地域でも手に取れる環境を整えました。また、ふるさと納税等も活用し、外国語図書は、２０１９年度の４，８２６冊から２０２４年度は８，４３４冊と充実を図りました。

今後の予定・課題

○　子どもの読書活動等に係る市民、小・中学校長、庁内関係部署の課長等を委員とする「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」を継続して開催し、子どもたちが多くの本と出会う機会を得て、読書の楽しさを体験できるよう、取組を進めます。
○　学校のニーズに応じた学校図書館支援資料を拡充していきます。
~~○~~　おはなし会を開催するにあたり、対象年齢ごとのニーズにあった曜日や時間帯等での実施を検討します。また、おすすめ本を紹介したリーフレットの作成を行うにあたり、メールマガジン等の効果的な情報発信方法を検討します。
○　電子書籍サービスの利用が本を手にするきっかけとなるよう、子どもが興味・関心を持つ図鑑、学習マンガ等を中心に、児童書の充実を図ります。

＜地域のコミュニティ形成を支援する図書館＞

答申概要

・地域で読書活動を推進する団体やボランティアの活動を支援することを通じ、本や読書活動をきっかけとした人と人、人と団体とのつながりを築くこと。
・地域コミュニティの形成支援を通じ、地域の課題解決、地域の発展に寄与すること。

あり方見直し方針

【地域のコミュニティ形成を支援する】
・地域で活動するボランティアの支援
・本と出会える場所づくり支援
・関連団体との連携の強化

現在の状況

○　保育園・幼稚園や小学校、学童保育クラブで読み聞かせを行っている保護者を対象に、絵本等の読み聞かせ講座を行い、本の選び方や読み方の技術向上を支援しました。また、おはなし会ボランティア養成講座を開催し、図書館で活躍するボランティアを育成しました。
○　２０２３年度からイベントの企画・運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー」が活動を開始し、図書館に来るきっかけとなる本の福袋などのイベントを実施しました。
○　気軽に本と触れ合う機会を提供することを目的として２０２１年度に地域文庫など市民が中心となって運営している施設の情報を掲載した「町田市読書ＭＡＰ」を、２０２３年度には改訂版の「町田市読書ＭＡＰ２０２３」を作成・配布しました。あわせ

て、電子版を図書館ホームページで公開しています。また、市民が行う読書活動拡大の取り組みをホームページで紹介しました。
○ 公共施設再編に伴い、鶴川図書館をつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」に転換しました。「つるぼん」では、約２０の地域団体と連携し、イベントを実施しています。
○ 予約資料受渡サービスを行っていた「南町田駅前連絡所」が２０２３年１月に閉所することにともない、サービスを継続できるよう「まちライブラリー@南町田グランベリーパーク」と連携し、同年２月から同所にて予約資料受渡サービスを開始しました。

今後の予定・課題

○ 今後も定期的に市民向け絵本の読み聞かせ講座、おはなし会ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの活動を支援します。また、講座の内容が画一的にならないよう、絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居やわらべうたをテーマにした講座を行い、ボランティアの技術向上を目指します。
○ ２０２５年度中に「町田市読書ＭＡＰ」の改訂を行います。
○ 市民が行う読書普及活動等の情報収集を行い、情報発信を行います。

＜地域の課題や社会状況の変化に対応した運営＞

答申概要

・その時々の社会状況や地域の課題に対応するよう運営やサービスの手法を絶えず見直すこと。
・外国人居住者の増加に対応した運営、電子書籍市場の拡大、教育現場でのＩＣＴ導入などの動向を踏まえた新たなサービスを展開すること。

あり方見直し方針

【地域の課題や社会状況の変化に対応する】
・インターネットや電子情報の利用環境の整備
・地域資料のデジタル化と公開

現在の状況

○ 来館せず２４時間３６５日利用できる電子書籍サービスの提供を２０２２年から開始しました。司書が毎月選書を行い、提供コンテンツに追加しています。また、毎月特集を組んでコンテンツの紹介をすることで、利用の促進を行っています。
○ 中央図書館では図書館内でのインターネット調査や電子書籍サービスが利用できるよう、２０２２年度から貸出用タブレット端末の提供を開始しました。
○ ２０２５年３月から図書館全館でフリーＷｉ-Ｆｉを利用できる環境を整えました。
○ 図書館ホームページから登録・更新手続ができる「オンライン利用登録・更新」、スマートフォンで利用券を表示できる「デジタル利用券」、町田市公式ＬＩＮＥから本

の検索・予約、利用券表示ができる「ＬＩＮＥ連携」、入力したキーワードをＡＩが解析して蔵書探索を行う「蔵書探索ＡＩ」など、新機能を実装した図書館システムを２０２５年３月に導入しました。
○　２０２５年３月にリニューアルした図書館ホームページでは「やさしいにほんご」、「英語」、「中国語（繁体字・簡体字）」、「ハングル」への機械翻訳を導入しました。また、図書館の利用案内の「英語」、「中国語（簡体字）」、「やさしいにほんご」版の改訂を行いました。
○　創刊からの『広報まちだ』の縮刷版など、過去の行政資料や地域資料を保存・デジタル化し、インターネット上で閲覧できるよう、電子書籍サービスにて公開しました。
○　町田市の施策や町田市の魅力をより多くの方にＰＲするために、関連部署と連携して設置する「特集コーナー」を充実させました。

今後の予定・課題

○　電子書籍サービスにて利用者が読みたいコンテンツに出会えるよう、サイト上で特集を組むなどの各種ＰＲを行います。
○　引き続き情報収集に努め、市民ニーズに合ったサービス展開を図る必要があります。
○　電子書籍サービスにおいて地域資料の閲覧ができることについて、利用者に対して周知を進めます。
○　関連部署と連携した「特集コーナー」を継続していきます。

（2）再編を進めるうえでの留意点

答申概要及びあり方見直し方針

・サービス利用に格差が生じることのない再編の検討
・図書館がもつ機能や役割の維持
・新たな利用者の獲得につながる再編の検討
・コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話
・運営体制検討の視点

現在の状況

○　鶴川図書館の再編にあたっては、２０２０年度から地域との対話を始め、意見交換を重ねながら図書の提供機能や、コミュニティ機能を持つ民設民営の施設へ転換する方向性を定めました。
○　施設の運営にあたっては、２０２３年度に地域の方々などによる運営法人が設立し民設民営化の準備が行われ、２０２５年５月につるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」がオープンしました。
○　「つるぼん」という愛称は子どもセンター「つるっこ」など鶴川地域の公共施設での投票により決まりました。

○　「つるぼん」では、図書の提供機能として町田市立図書館の図書の返却や予約本受取を続け、運営団体が管理している約１５,０００冊の本を貸出しています。コミュニティ機能として、館内に飲食や自由に話ができるスペースを用意したほか、様々な地域団体と連携したイベントを実施し、地域のつながりづくりに取り組んでいます。
○　居心地が良い環境づくりや興味関心を惹く本の配架、さらに鶴川図書館では実施していなかったアートとコラボした館内イベントなどを実施することにより、新たな利用者の獲得につながっています。
○　「つるぼん」では、オープンから１２月までの来館者累計が７５,７６１人に達し、月平均の来館者は「つるぼん」転換前の鶴川図書館の約８，８００人に迫る、約８，４００人となりました。

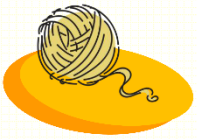
今後の予定・課題

○　地域でのコミュニティづくりが進むよう運営支援を継続します。

小学生対象イベント

エコたわしをつくろう

SDGs



毛糸をつかって、洗剤のいらないエコなたわしを作りましょう！
指編みで簡単に作れます。
SDGs⑭【海の豊かさを守ろう】についても学べますよ！

日時 2025年2月15日(土)
午前11時から12時

定員 10人(先着申込順)

会場 町田市立中央図書館
4階おはなしのへや

対象 小学生(低学年～)
※参加は本人のみ。保護者の方は見学となります。

持ち物 なし

申込

■Web受付
町田市イベント申込システム（通称イベシス）
年中無休２４時間受付
イベントコード（２５０１１６C）
で検索してください

【イベシスQRコード】

■電話受付
町田市イベントダイヤル
（０４２－７２４－５６５６）
年中無休　午前７時から午後７時まで

■受付（電話・Web受付）
１月１６日（木）正午から
２月９日（日）まで
（Web受付は午後１１時５９分、電話受付は午後７時）まで

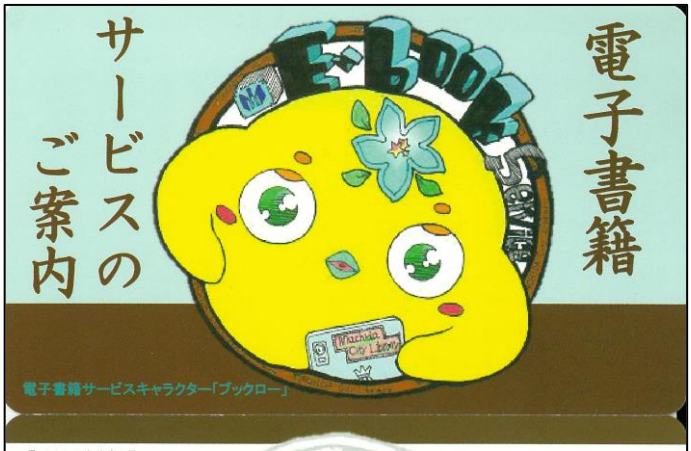
図書館プランナーとは？

自由な発想で、図書館でやってみたいことの企画・運営などを行う、15歳(中学生を除く)から25歳までのボランティアです。

詳細はまちだ子育てサイトをご覧ください！

町田市立中央図書館　企画・地域支援係　☎ 042-728-8220

電子書籍サービスのご案内



【利用対象】
利用券をお持ちの町田市在住・在勤・在学の方

【ID・パスワード】
ID：利用券番号8桁
パスワード：生年月日8桁
（例）2016年01月06日⇒20160106

【貸出】
3点まで、2週間（336時間）以内
※予約がない場合に限り１回まで延長可

【予約】
3点まで
取置期間：3日間（72時間）

くわしくはこちら

【町田市立図書館ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ】

【電子書籍サービスサイト】

2025 図書館プランナー募集中！

図書館でやってみたいコトありませんか？

対象
15～25歳まで(中学生を除く)の、中央図書館で行う集まりに参加できる方
(随時受付：先着30名)

活動日時
月2回程度行う予定
(その他イベント企画・運営あり！)
2025年度第１回目のミーティングは４月20日(日)に行います！

受付
mcity6360@city.machida.tokyo.jp へ応募！
件名を「図書館プランナー応募」として、本文に、名前とふりがな、住所、学校名・学年(または年齢)、連絡先(電話番号)を入れてください。

詳しくは町田市立図書館ホームページをご覧ください。
図書館プランナー募集ページ
(町田市立図書館ホームページ)

問合せ先：町田市立中央図書館 企画・地域支援係 ☎ 042 728 8220

つるぼん
tsurubon

つるかわ図書コミュニティ施設

2025年春、鶴川団地センター名店街区に、
新たにつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」が生まれます。

オープンにあたりプレオープンとグランドオープンイベントのご案内です。
場所：つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」（旧鶴川図書館）参加無料

プレオープン
- 日時：4/29（火）～5/9（金）
  ※5/5・5/8を除く
  11:00～15:00
- 内容：施設内の見学
  つるぼん貸出カード作成

※本・雑誌・食べ物の閲覧ならびに貸出はできません。
※町田市立図書館の図書の返却は10:00～17:00までとなります。

グランドオープンイベント
- 日時：5/10（土）
  11:00～15:00
- 内容：オープニングセレモニー、シャボン玉ショー
  トークセッション、おはなしに出会う会
  ポッチャ体験、ワークショップ、バザー

一般社団法人つるかわ図書コミュニティ施設運営協議会